

新型コロナウイルス抗体検査の意義と注意事項

- この検査は、体内にウイルスが存在しているかどうかを確認する PCR 検査とは異なります。PCR 検査は発症後比較的すぐ陽性となります。
- この検査は、体内にウイルスが侵入した結果、免疫システムが産生する抗体（ IgG ・ IgM ）の存在を確認する検査です。発症から数日で IgM が産生開始され、発症から約 1 週間で IgG が産生されます。発症から約 2 週間で 80% の人が、発症から約 3 週間でほぼ 100% の人が IgG 陽性となります。
- 他のウイルス感染症などでは、抗体検査でも診断法として確立されているものも多くあります。新型コロナウイルスに対しては、データ量が不十分のため現時点で国内では調査目的に多く使用しております。
- 現時点日本では、厚生労働省が PCR 検査のみを認可し保険適応としているため、抗体検査は保険適応外で、また確定診断に用いることはできません。
- ただし、日本以外の諸外国の多くは PCR 検査や抗体検査を確定診断等に用いております。当院の検査キットは韓国製です。発症から 8 日後で感度は 93%、特異度は 97%。発症から 10 日後で感度は 97%、特異度は 97% です。発症初期を含めた全期間の感度は 82%、特異度は 97% です。よって、少なくとも発症後 10 日以上での検査施行がより正しい結果が得られる可能性が高いと考えます。今後随時他の検査キット導入予定です。
- 『感度』とは、病気のある人を正しく病気があると判定する確率で、『特異度』とは病気がない人を正しく病気がないと判定する確率のことです。
- 検査結果の内容は次のとおりです。

【IgM (-) IgG (-)】

感染していない可能性が高いですが、上記感度と特異度の関係より確定はできません。症状がなければ引き続き感染予防を継続してください。

【IgM(+) IgG(-)】 【IgM(+) IgG(+)]】

現在感染している可能性があります。症状があればレントゲンや CT などの画像検査、

PCR 検査での総合した判断が必要です。もし症状がない場合は、不顕性感染の可能性があります。画像検査や PCR 検査などが 必須というわけではありませんので、感染拡大予防のため、ご自身の隔離、手洗い、マスク着用のうえ自宅静養を徹底してください。なお、この結果を根拠にして、PCR 検査等の精査を希望するなど、他院に受診したりすることは絶対にお控え下さい。希望がある場合は、当院医師にご相談下さい。

【IgM(-) IgG(+)]

既感染の可能性が高い状態です。今後、再感染する可能性は低いと考えられますがゼロではありません。また抗体がどのくらい体内に継続するかは現時点では詳細不明のため、再感染しにくい期間がどれくらい継続するかは不明です。

以上が新型コロナウイルス抗体検査の説明となります。現在日本では抗体検査が未認可であり、また新型コロナウイルスに関してもわかっていない点が多くあります。また抗体検査がどれくらい正確なのかに関する情報がまだ十分ではありません。従って、抗体検査による結果での診断書の発行はお断りさせていただいております。

のなか内科